



東京大学大学院 総合文化研究科
グローバル地域研究機構 韓国学研究センター

韓国伝統芸能・レクチャーコンサート



日時：2024年1月19日（金）13：15～15：45

場所：東京大学駒場キャンパス学祭交流ホール

後援：韓国国外所在文化財財団

【プログラム】

- 1 韓英淑流 太平舞
- 2 李生剛流 大琴散調
- 3 論介サルプリ
- 4 大琴独奏 清声曲、アメイジング・グレイス

* 韓英淑流 太平舞（出演者：朴貞牙）

太平舞は、国の平和を祈願するとともに太平聖代を称える踊りで、国家無形文化財第92号に指定されている。名手と言われた1900年代の舞踊家・韓成俊が、京畿の巫俗舞踊を再構成した。動作が繊細かつ優雅で、一つ一つの動きに節度があり、長調に合わせて踊りの動きが変化し、機敏でありながら細かな足取りが特徴である。

* 李生剛流 大琴散調（出演者：李星僑、姜聲富、朴備紬）

大琴散調は、国家無形文化財第45号に指定された伝統と現代を融合した曲目である。音を再構成し、既存の大琴散調のリズムに変化を与えることで、即興的な李星僑の散調が、新たな表現を生む。深みがあり、多様な音色を持つ曲を、静かに表現するのが特徴である。

* 論介サルプリ（出演者：李龍熙）

論介サルプリは、国家無形文化財晋州剣舞芸能保有者の金壽岳の遺作を受け継いだ金慶蘭が創案した壮大な舞踊である。晋州妓房系の踊りで、南海岸ビョルシングッ（巫俗）の色彩が加わったのが独創的である。

* 大琴独奏（出演者：李星僑、姜聲富）

清声曲は、歌曲の最後の曲である太平歌の伴奏音楽を変奏し、大琴や短簫で演奏する独奏曲である。「清聲」という言葉はもともと高い音域を意味する言葉で、全体的に高音域で演奏されることから名付けられた。

アメージング・グレイスは、世界中で最も有名な賛美歌の一つである。現在は本来の宗教的な側面をはるかに超え、今日の英語圏の大衆文化に欠かせない歌となっている。

李龍熙 (イ・ヨンヒ、이용희)

成均館大学校 哲学博士

成均館大学校東洋哲学系兼任教授

韓國舞踊美学研究所所長

韓中日ウリチュム競演大会韓國文化体育觀光部長官賞 受賞

社) 人文芸術研究所高級研究員

社) ソンビ (儒生) 精神科風流文化研究所演出企画



朴貞牙 (パク・ジョンア、박정아)

水原大学校 舞踊教育碩士

水原大学校、基督大学校 非常勤講師

第 27 回全国国楽大典 文化体育觀光部長官賞 受賞



李星儁 (イ・ソンジュン、이성준)

檀国大学校 音楽学博士

韓國国家重要無形文化財 第 45 号大琴散調 履修者

テオルム民俗歌舞楽団芸術監督

笛音シナウイ保存会会長

伝統部門功勞賞 文化体育觀光部長官賞 受賞

米国ニューヨーク・カーネギーホールおよびリンカーンセン

ターにて大琴独奏



姜聲富(カン・ソンプ、강성부)

中央大学校国学大学伝統芸術学部 卒業

韓國京畿道抱川市立民俗芸術団演奏団員

第 36 回梁山全国 舞踊・国学芸術祭 器楽部最優秀賞 受賞

第 29 回大田全国国楽競演大会 大賞

国家重要無形文化財 第 45 号大琴散調 伝修者



朴備紬 (パク・ビジュ、박비주)

国立伝統芸術高等学校 在学

国家重要無形文化財 第 45 号大琴散調 伝修生



ホール名	学際交流ホール
マップ	駒場 I キャンパス アドミニストレーション棟3階 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_32_j.html
座席数	132席 車いす席:ホール前方
エレベーター	専用乗り場ボタン、点字表記、エレベーター内鏡、 手すり、専用運転盤、音声案内
最寄り駅・最寄り門	<p>■最寄り駅</p> <p>◆駒場東大前駅(京王井の頭線)</p> <p>◆渋谷駅(JR山手線等)</p> <p><私鉄利用></p> <p>井の頭線(吉祥寺方面行)→「駒場東大前」駅下車 *エレベーターは吉祥寺寄り西口側にあり。</p> <p><東急バス利用></p> <p>渋55幡ヶ谷折返し所行→「東大裏停留所」下車</p> <p>■最寄り門</p> <p>正門、裏門、西門</p> <p>■ひとことメモ</p> <p>各門からの構内移動問題なし。正門前井の頭線東口は階段のみ。エレベーター利用の場合、坂下門から正門までは急な上り坂のため、西門への迂回を勧める。東大裏バス停は裏門近くだが、電動車いすの通行が困難なため、一つ先の二ツ橋停留所降車、西門への迂回が必要となる。</p>
建物・ホールへのアクセス	スロープあり。 (建物入口に設置。)
トイレ	設置階:1階、3階 扉の形状:引き戸
車いすでの登壇	可。(フロアからステージの段差は低く、スペースもあるため、仮設スロープがあれば登壇可能。)
その他	外扉と内扉の間が全体に急傾斜になっており、車いすの場合は、介助が必要である。
問い合わせ先	教養学部・教務課教務企画係 TEL:03-5454-6328, 4443

※構内のアクセスについては、各キャンパスのバリアフリーキャンパスマップをご参照ください。

<http://ds.adm.u-tokyo.ac.jp/contact/campusmap.html>

※東急バスは、ノンステップバスや電動リフト付きバスを導入しています。東急バスのバリアフリー情報については、こちらをご確認ください。

http://www.tokyubus.co.jp/top/eco_bus/index.html



障害者対応エレベーター



スロープあり



障害者対応トイレ